

## 第2章 児童生徒・学校質問紙調査の結果

### 自己肯定感、挑戦心、達成感に関する状況

多くの大人が関わり、励ましながら、子どもたちの学びと育ちを支えることが大切です。

「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に対し、肯定的（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」）に回答した小中学生の割合は、昨年度より減少したものの増加傾向にあり、中学生は全国平均を上回っています。こうした状況は「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。」等の質問に対し、肯定的に回答した小中学生の割合が、全国平均を上回っていることからわかるように、子どもたちの学びに寄り添ったきめ細かな指導等によるものと考えます。

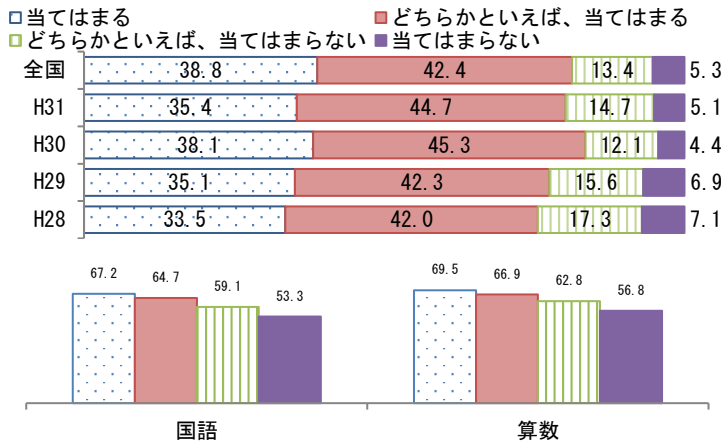
今後も、子どもたちが、学校・家庭・地域での様々な学びの場をとおして、「できるようになった」という達成感を積み重ね、自己肯定感を高めることができるよう、多くの大人が関わり、励ましながら、子どもたちの学びと育ちを支えることが大切です。

#### <グラフの見方>

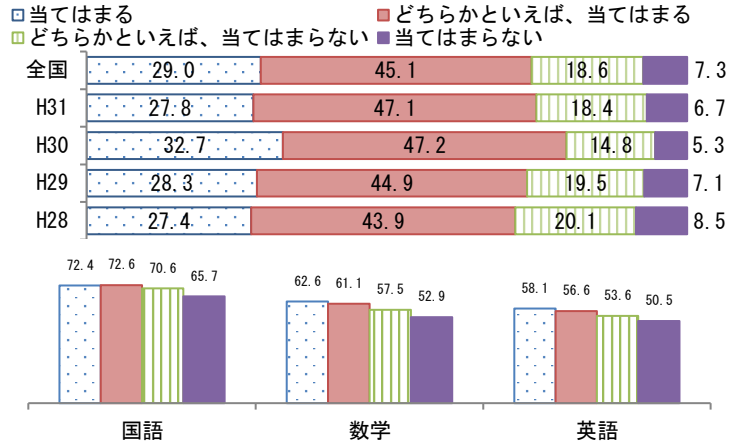
- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する本県の回答別の平均正答率（H31年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

### 【児童生徒質問紙】（5）自分には、よいところがあると思いますか。

#### 小学生

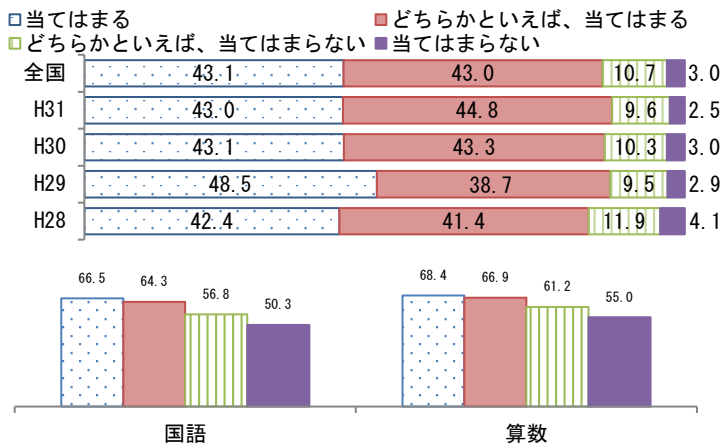


#### 中学生

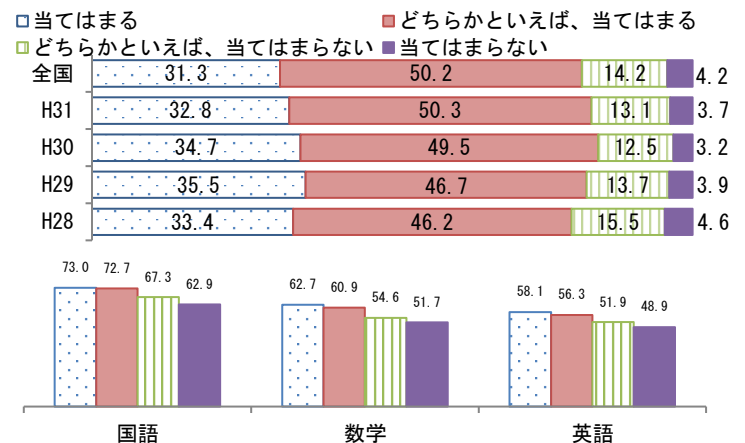


### 【児童生徒質問紙】（6）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

#### 小学生

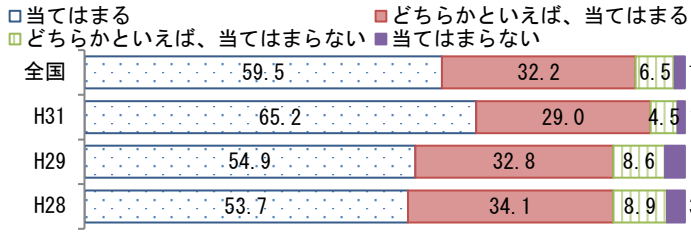


#### 中学生

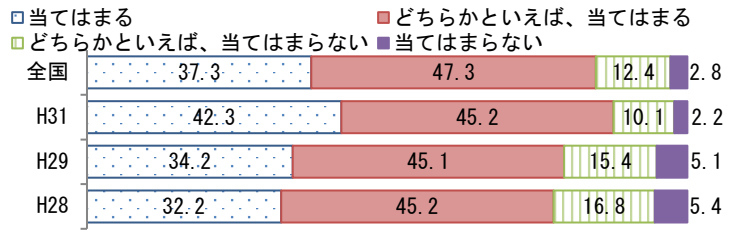


【児童生徒質問紙】（7）先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

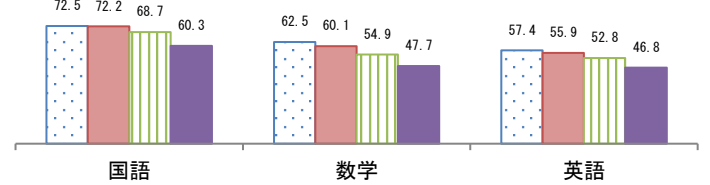
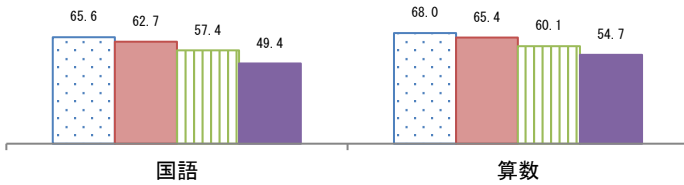
小学生



中学生

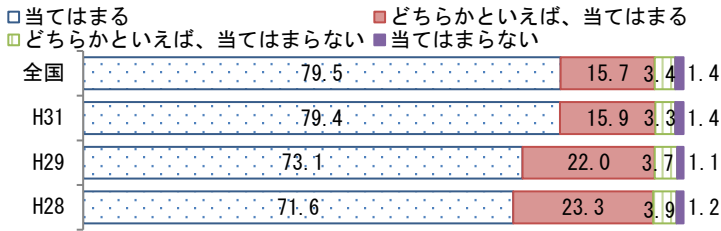


※平成30年度は質問項目にありません。

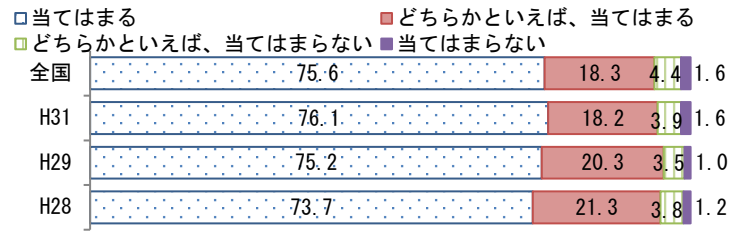


【児童生徒質問紙】（9）ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

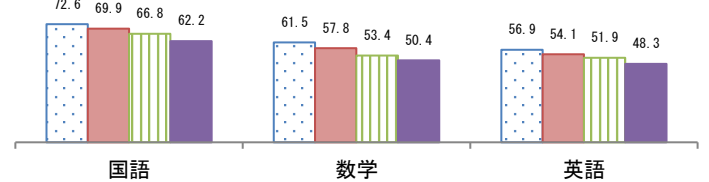
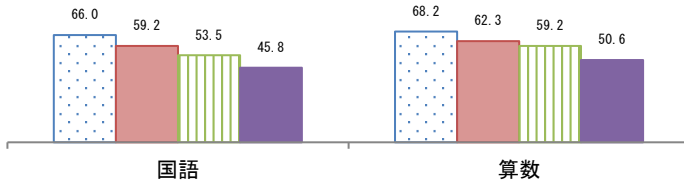
小学生



中学生

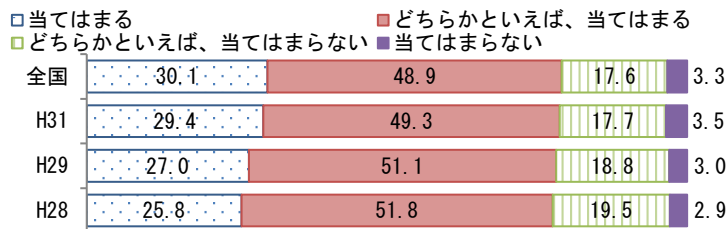


※平成30年度は質問項目にありません。

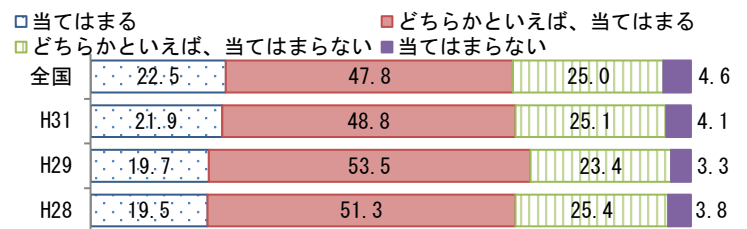


【児童生徒質問紙】（10）難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

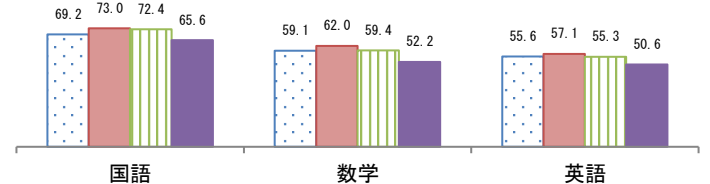
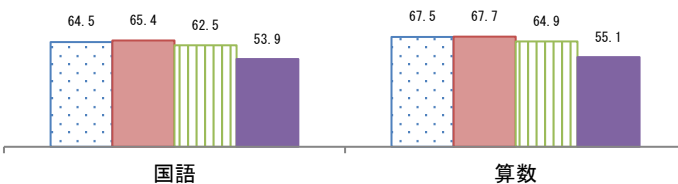
小学生



中学生



※平成30年度は質問項目にありません。



## 規範意識に関する状況

子どもたち一人ひとりの学習活動が保証されることが、平均正答率に影響していると考えられます。

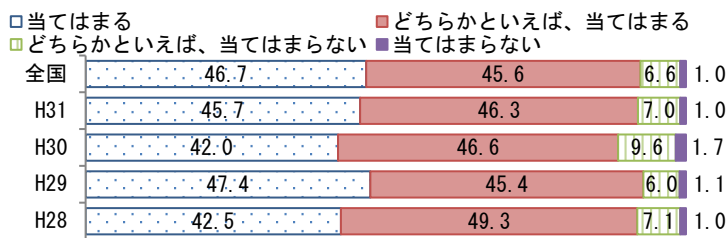
「学校のきまり（規則）を守っていますか」との質問に肯定的に回答した小中学生の割合は、昨年度より増加しています。

各教科とも、きまり（規則）を守っている小中学生ほど平均正答率が高い傾向が見られ、小学校国語、中学校国語・数学では、「当てはまる」と回答した小中学生と「当てはまらない」と回答した小中学生の平均正答率の差は20ポイント以上ありました。

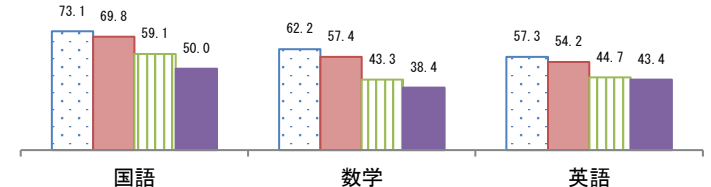
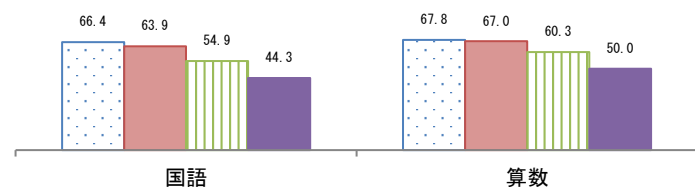
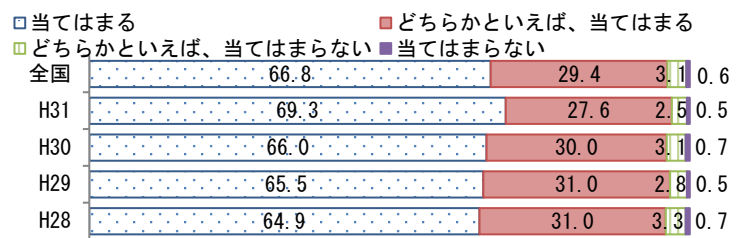
授業規律が守られているクラスでは、子どもたち一人ひとりの学習活動（考えたり、表現したりすること）が確実に保証されることから、平均正答率に影響していると考えられます。

### 【児童生徒質問紙】 (13) 学校のきまり（規則）を守っていますか。

#### 小学生



#### 中学生



## 家の人との対話に関する状況

お互いに考えていることを語り合うといった時間を大切にしましょう。

「家の人と学校での出来事について話をしますか」との質問に肯定的に回答した小中学生の割合は、中学生では平成28年度以降増加していますが、小中学生ともに全国平均を下回る状況にあります。

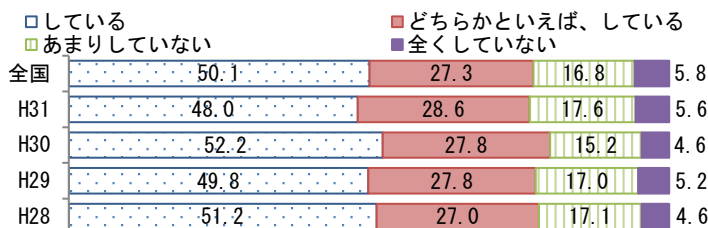
対話をしている小中学生と全くしていない小中学生の平均正答率を比較すると、小中学校全ての教科において差が見られます。

子どもは、ふだんの何気ない家の人との対話やふれ合いから、多くのことを受け取っています。対話をとおして、子どもの「聴いてもらった」「分かってもらった」「認めてもらった」という気持ちがふくらみ、子どもに安心感が生まれ、信頼関係が深まります。

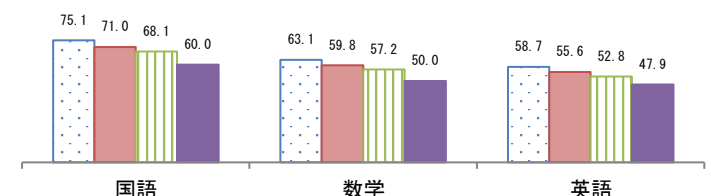
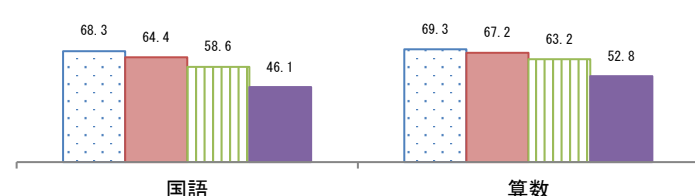
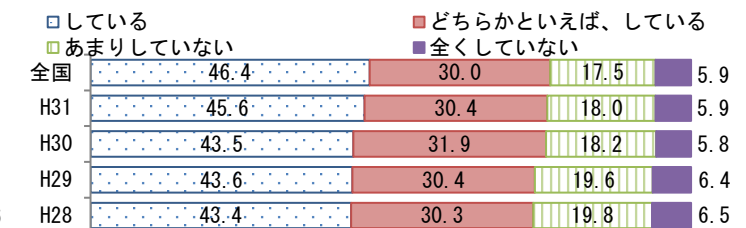
子どもの成長とともに、子どもとの対話が少なくなりがちです。夕食時や週末などに学校での出来事や、お互いに考えていることを語り合うといった時間を大切にしましょう。

### 【児童生徒質問紙】 (4) 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

#### 小学生



#### 中学生



## 学習習慣に関する状況

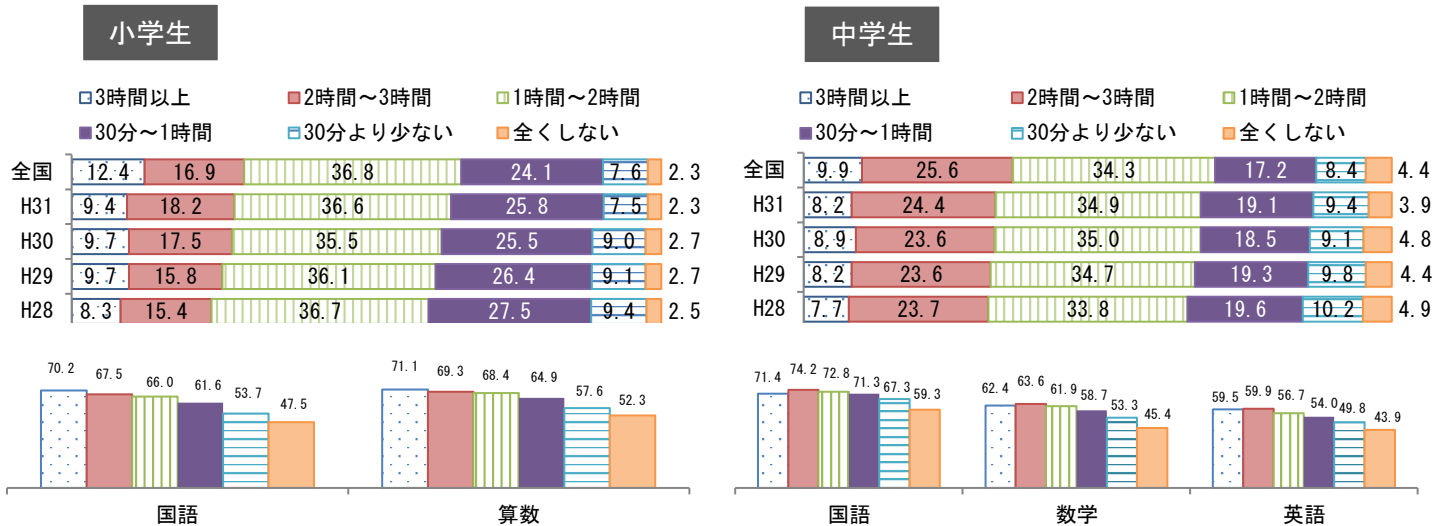
1時間以上を目安に、学習習慣を身に付けていくことが大切です。

平日に1時間以上勉強している小中学生の割合は、平成28年度以降増加傾向にあります。全国平均を下回る状況が続いています。

「1時間以上学習している」と回答した小中学生の平均正答率は、全教科で全国平均以上となっています。なお、中学生では、学習時間が「2時間以上3時間未満」と回答した生徒の平均正答率が全ての教科で最も高くなっています。「3時間以上」と回答した生徒は睡眠時間が短く、翌日の授業に集中できていないことが考えられます。

1時間以上を目安に、学習習慣を身に付けていくことが大切です。

【児童生徒質問紙】(18) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



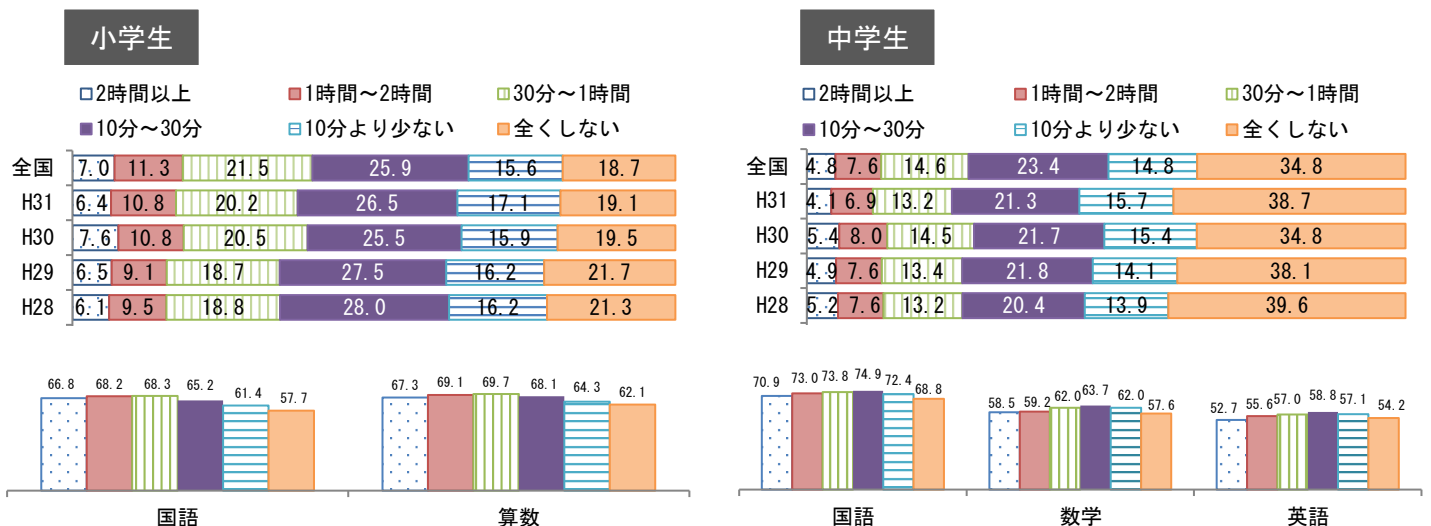
## 読書習慣に関する状況

毎日10分~30分でも、継続していくことが大切です。

平日に10分以上読書をしている小中学生の割合は、昨年度に比べて減少し、全国平均を下回っている状況です。10分以上読書をしている小学生の平均正答率は、国語、算数ともに全国平均を上回っています。また、「10分~30分」「30分~1時間」と回答した中学生の平均正答率は、各教科で全国平均を上回っています。

子どもが本に親しむ原点は「楽しさ」です。家庭は子どもが読書と出会うきっかけをつくる大切な場です。その大切な場で子どもたちが、読書を楽しみ、自ら読書に親しめるよう、大人と子どもと一緒に読書に親しむ「家読(うちどく)」に取り組んでいきましょう。

【児童生徒質問紙】(19) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



# 教科に対する意識等に関する状況（国語、算数・数学について）

## ① 小学生の興味関心と小学校における指導

国語、算数が「好き」と回答した小学生ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

国語と算数に関する小学生の興味関心は、肯定的に回答した割合が増加傾向にあります。国語、算数ともに、前年度からすべての項目において「当てはまる」と回答した割合が増加しており、平成 28 年度からの過去 4 年間で最も高くなりました。また、「国語の勉強/算数の勉強が好き」と回答した小学生の方が平均正答率が高い傾向が見られました。

学校における指導状況は、国語の「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」、算数の「実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか」「計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答した割合が増加しています。

### 児童質問紙

#### 小学校

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

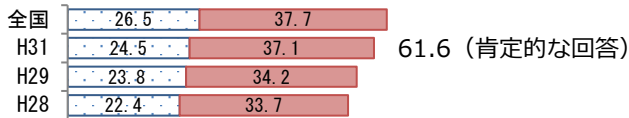
### 学校質問紙

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った

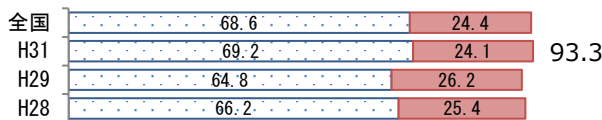
## 【国語】 小学生の興味関心と学校の指導状況

※平成 30 年度は、国語の調査項目はありません

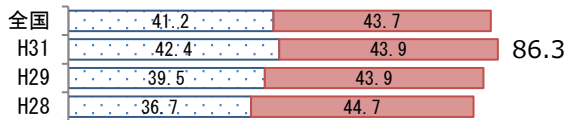
### 国語の勉強は好きですか。



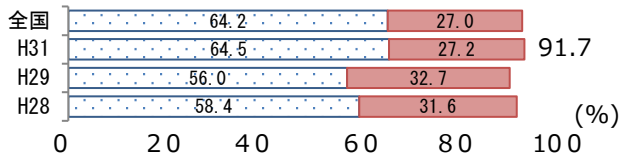
### 国語の勉強は大切だと思いますか。



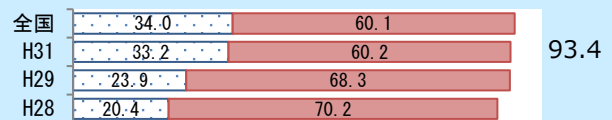
### 国語の授業の内容はよく分かりますか。



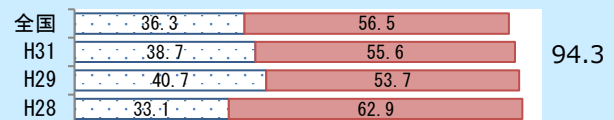
### 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



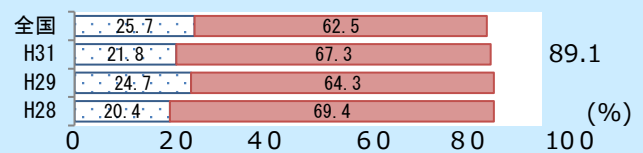
### 目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。



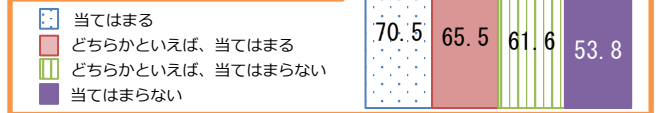
### 書く習慣を付ける授業を行いましたか。



### 様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

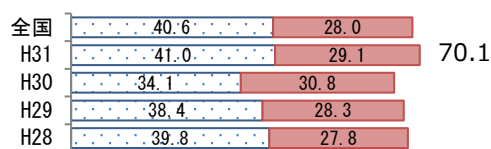


### 「国語の勉強は好きか」の選択肢毎の国語の平均正答率

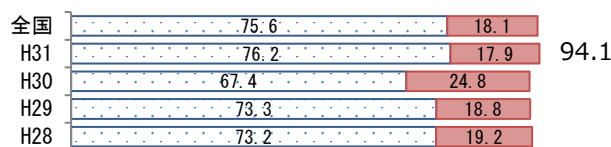


## 【算数】 小学生の興味関心と学校の指導状況

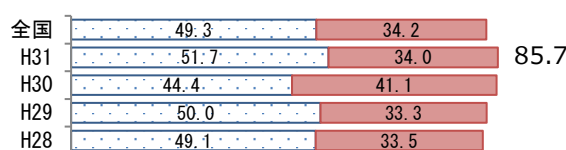
### 算数の勉強は好きですか。



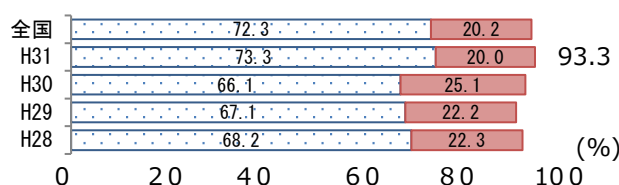
### 算数の勉強は大切だと思いますか。



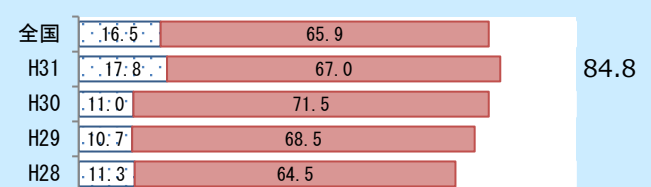
### 算数の授業の内容はよく分かりますか。



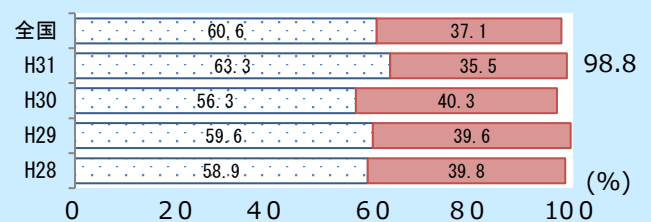
### 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



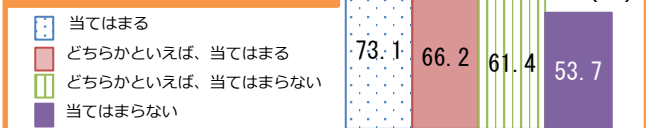
### 実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。



### 計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。



### 「算数の勉強は好きか」の選択肢毎の算数の平均正答率



# 教科に対する意識等に関する状況（国語、算数・数学について）

## ② 中学生の興味関心と中学校における指導

国語、数学が「好き」と回答した中学生ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

国語と数学に関する中学生の興味関心は、いずれの項目も肯定的な回答の割合が、平成 28 年度からの過去 4 年間で最も高くなりました。また、「国語の勉強/数学の勉強が好き」と回答した中学生の方が平均正答率が高い傾向が見られました。特に数学では、「数学の勉強は好きですか」との質問に対し、「当てはまる」と回答した割合と「当てはまらない」と回答した割合の差が 22 ポイントありました。

学校における指導状況は、国語の「書く習慣を付ける授業を行いましたか」において、「よく行った」と回答した中学校の割合が平成 29 年度に比べて 8.6 ポイント増加し、全国平均を上回る結果となりました。

### 生徒質問紙

### 学校質問紙

#### 中学校

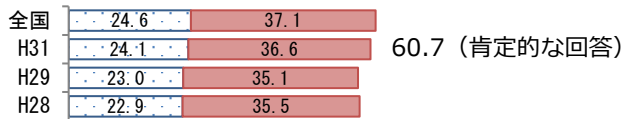
□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる

□ よく行った □ どちらかといえば、行った

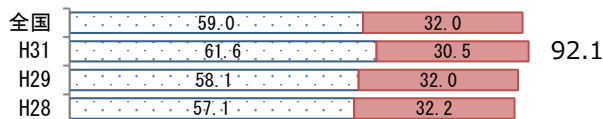
### 【国語】 中学生の興味関心と学校の指導状況

※平成 30 年度は、国語の調査項目はありません

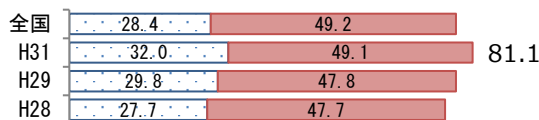
#### 国語の勉強は好きですか。



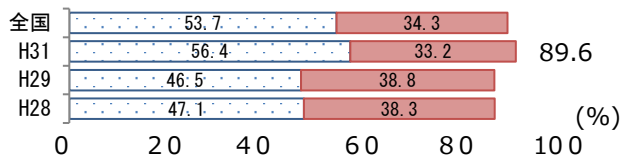
#### 国語の勉強は大切だと思いますか。



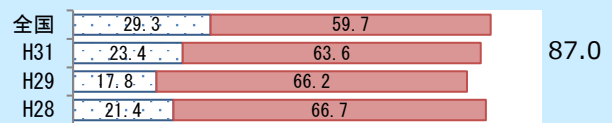
#### 国語の授業の内容はよく分かりますか。



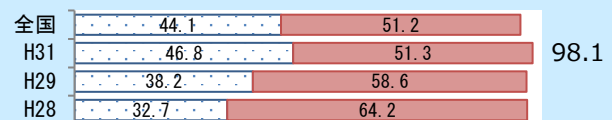
#### 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



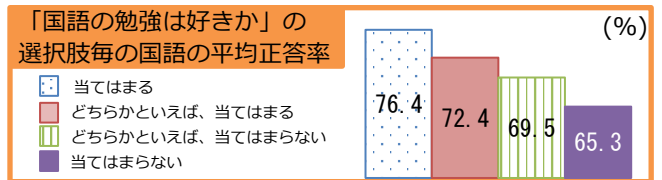
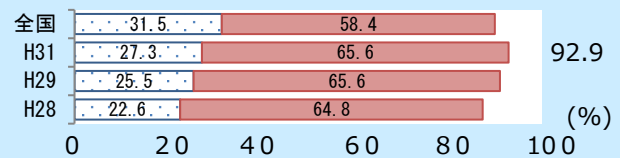
#### 目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。



#### 書く習慣を付ける授業を行いましたか。

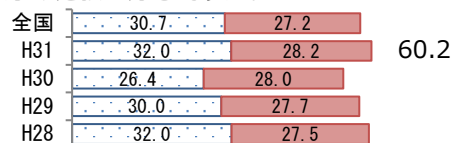


#### 様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

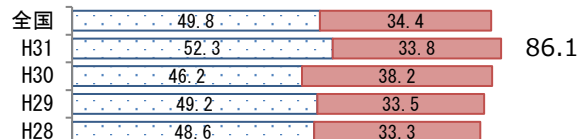


### 【数学】 中学生の興味関心と学校の指導状況

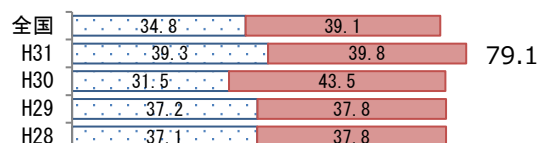
#### 数学の勉強は好きですか。



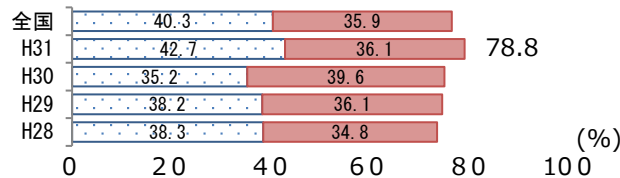
#### 数学の勉強は大切だと思いますか。



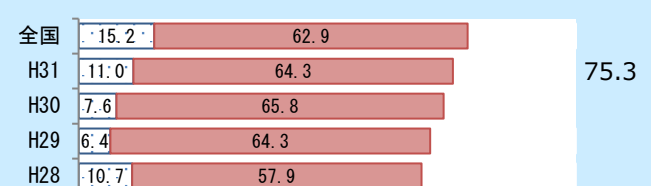
#### 数学の授業の内容はよく分かりますか。



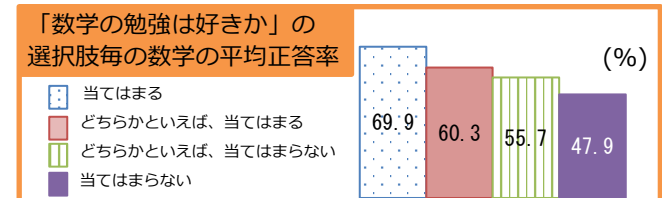
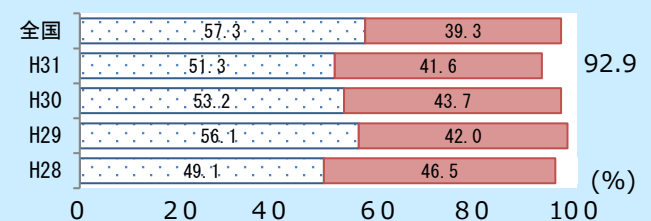
#### 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



#### 実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。



#### 計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。



## 教科に対する意識等に関する状況（中学校英語について） 中学生の興味関心等

英語によるコミュニケーション力を  
付ける指導を！

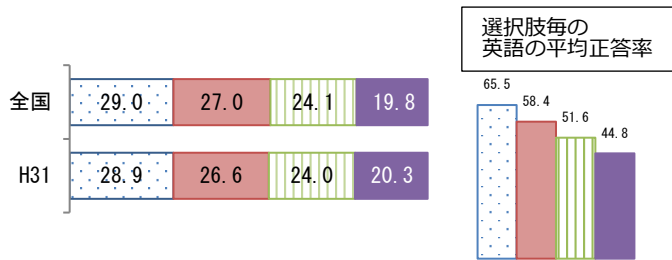
「英語の授業は好きですか」「英語の授業はよく分かりますか」との質問に対し、肯定的に回答した中学生の割合は、それぞれ55.5%、69.3%で、他教科よりやや低い状況です。

一方で、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との質問に対し、肯定的に回答した中学生の割合は86.3%で全国平均より高い状況です。さらに「当てはまる」と回答した中学生の割合は60.8%で、他教科より高い状況であり、多くの中学生が社会に出た時の重要性を認識しています。

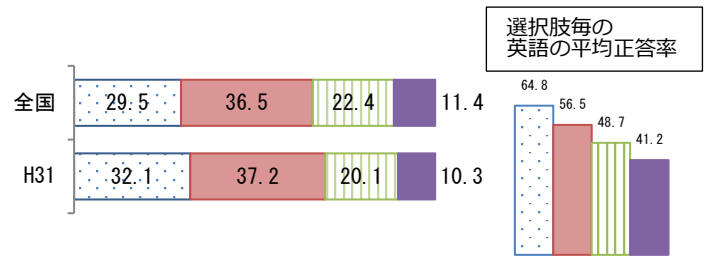
今後、中学校の英語の指導については、内容の理解だけにとどまらず、内容に対する答えを英語で話したり書いたりできるようにする、英語によるコミュニケーション力を付ける指導が重要となってきます。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

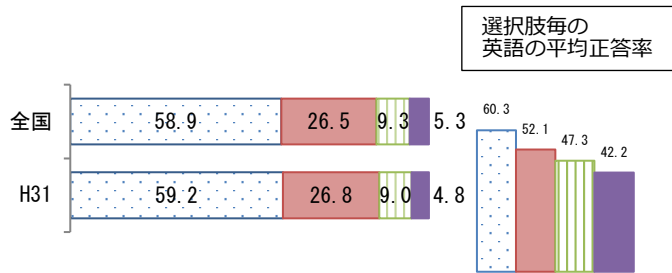
### 【生徒質問紙】英語の勉強は好きですか。



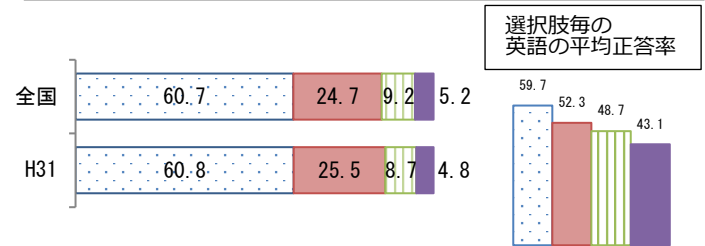
### 【生徒質問紙】英語の授業はよく分かりますか。



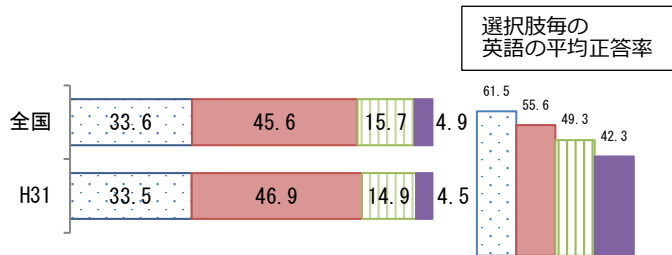
### 【生徒質問紙】英語の勉強は大切だと思いますか。



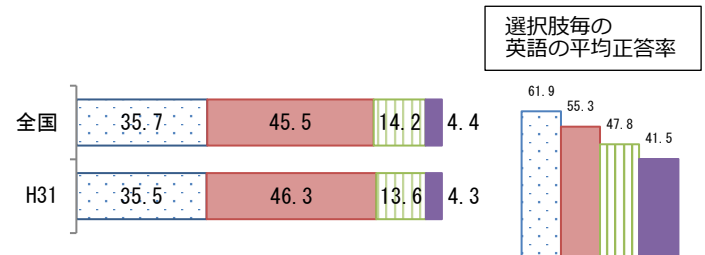
### 【生徒質問紙】英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



【生徒質問紙】1・2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。



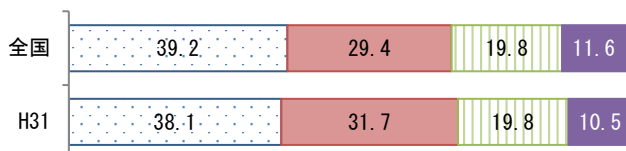
【生徒質問紙】1・2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。



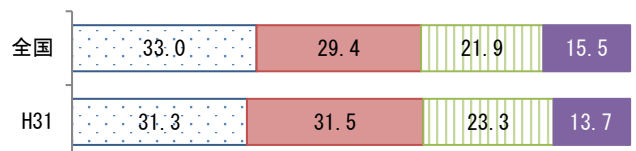
### 【児童生徒質問紙】外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

#### 小学生



#### 中学生



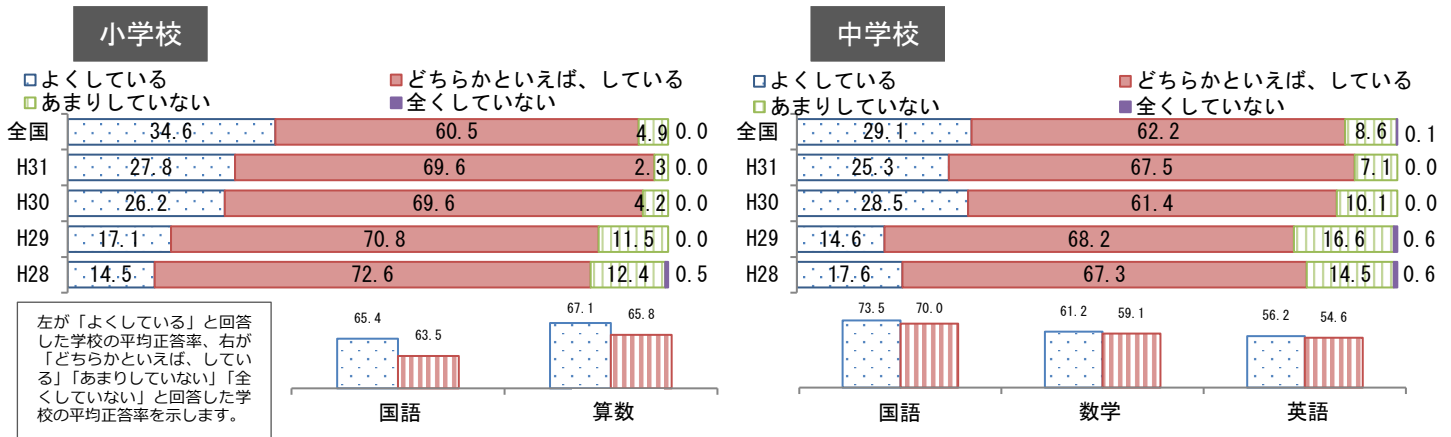
## カリキュラム・マネジメントに関する状況

カリキュラム・マネジメントの「三つの側面」を踏まえ、学校の全体的なあり方を改善していくことが重要です。

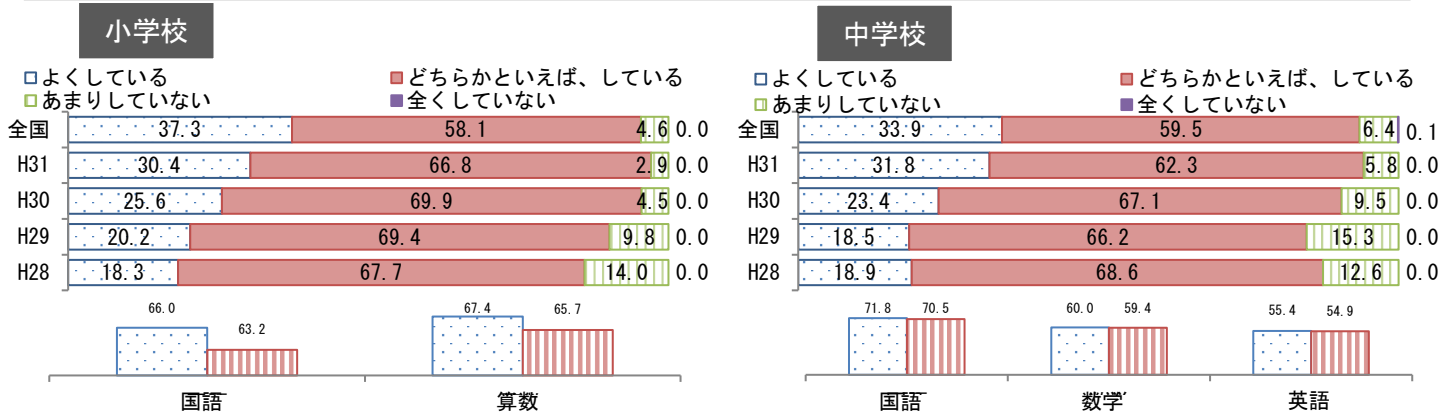
「指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか」との質問に「よくしている」と回答した割合は、小学校では昨年度より増加していますが、中学校では減少し、小中学校とも全国平均を下回っています。

「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」との質問に「よくしている」と回答した小中学校の割合が、昨年度に比べて小学校で4.8ポイント、中学校で8.4ポイント増加しています。また、組織的に学校全体で取り組んでいる学校の方が、平均正答率が高い傾向にあります。カリキュラム・マネジメントの「三つの側面」を踏まえ、教育活動や組織運営等の学校の全体的なあり方を改善していくことが重要です。

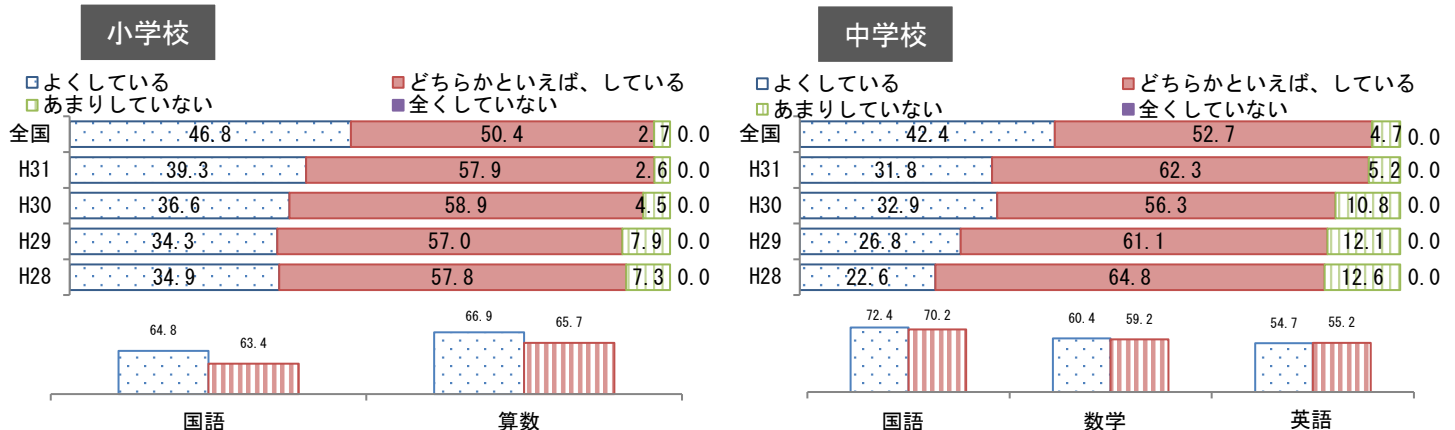
【学校質問紙】 (15) 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか。



【学校質問紙】 (17) 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。



【学校質問紙】 (19) 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。





主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

他者と協議しながら試行錯誤を重ね、自らの考えを広げ深めるなどのプロセスが大切です。

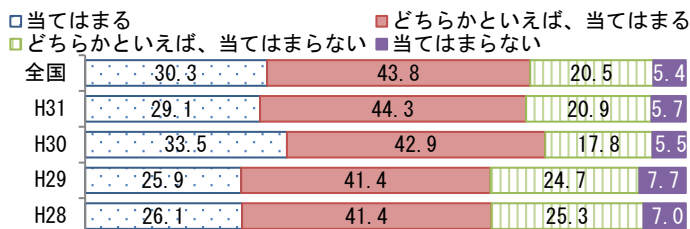
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」との質問に肯定的に回答した小中学生は7割を超えており、このように回答した小中学生の平均正答率は、全教科で全国平均を上回っています。「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した小中学生の割合が、昨年度に比べて小学校で5.1ポイント、中学校で3.9ポイント増加しています。また、この質問に対して「当てはまる」と回答している小中学生と「当てはまらない」と回答している小中学生の平均正答率を比べると、国語、算数・数学については20ポイント以上の差があります。

学校に対する「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」等の質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は8割を超えており、新学習指導要領を踏まえた授業改善が図られていることが伺えます。

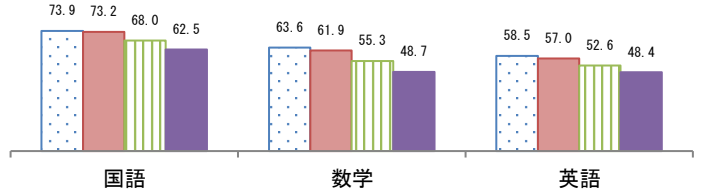
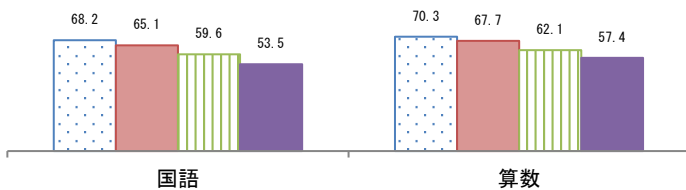
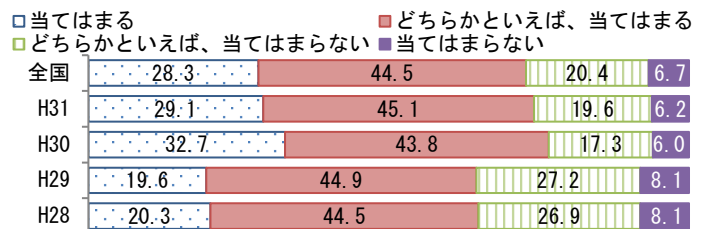
学びの過程では、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、他者と協議しながら試行錯誤を重ね、自らの考えを広げ深めるなどのプロセスが大切です。

【児童生徒質問紙】（29・32）学級の友達との間で【生徒の間で】話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

小学生

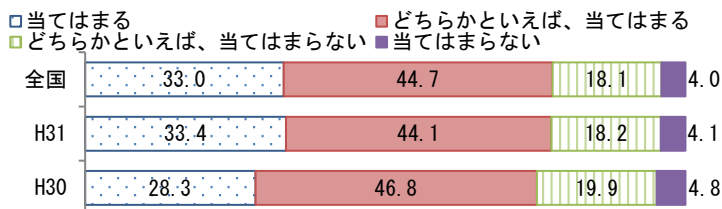


中学生

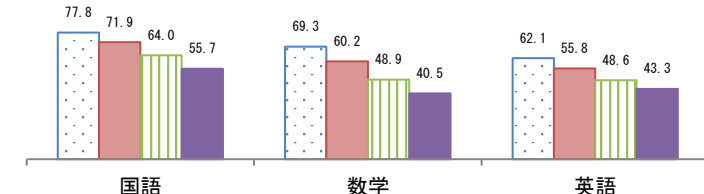
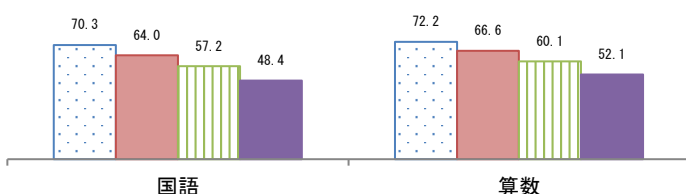
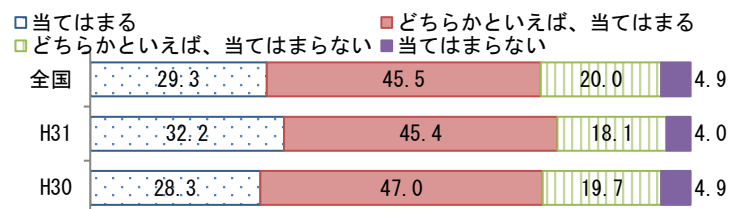


【児童生徒質問紙】（35・37）5年生まで【1、2年生のとき】に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

小学生

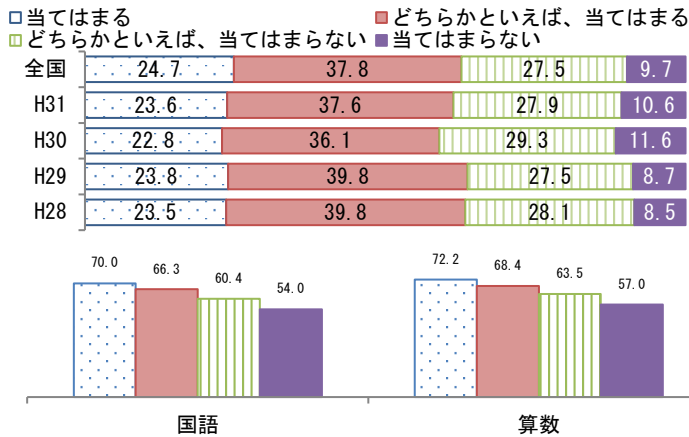


中学生

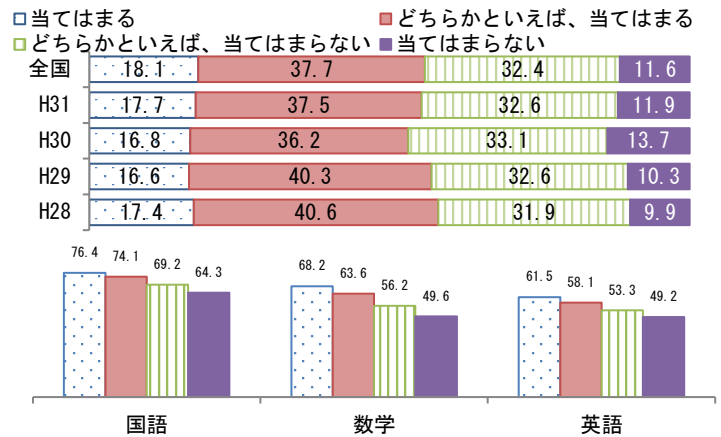


【児童生徒質問紙】（36・38）5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

小学生

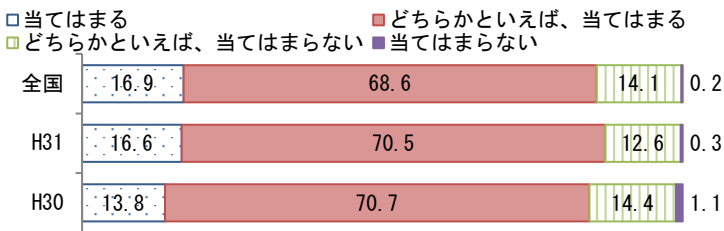


中学生

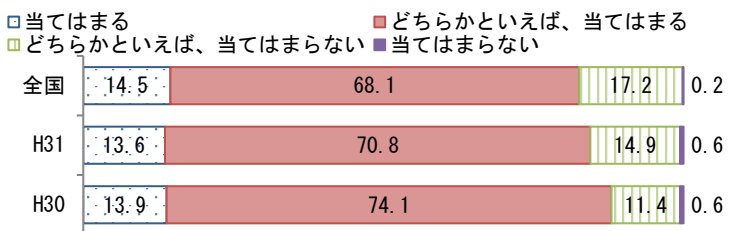


【学校質問紙】（32・33）調査対象学年の児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

小学校

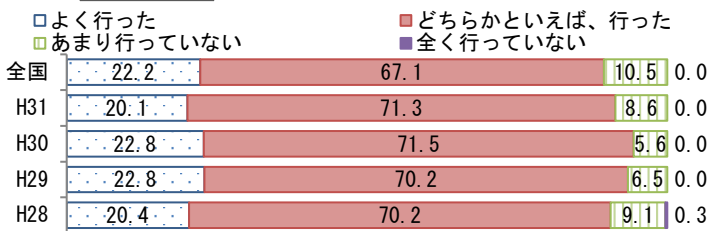


中学校

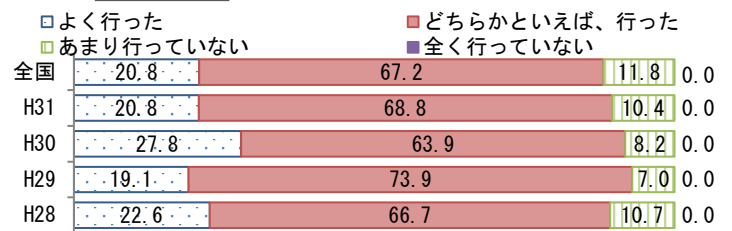


【学校質問紙】（37）調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。

小学校

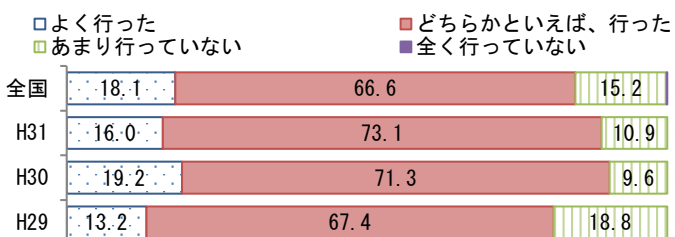


中学校

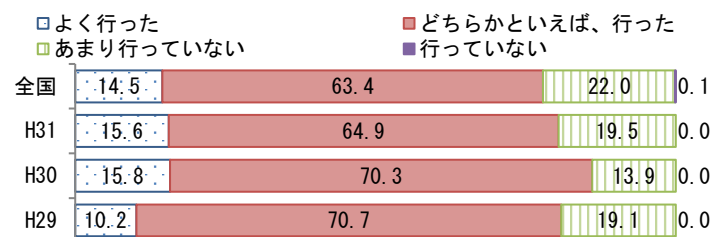


【学校質問紙】（38）調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。

小学校



中学校



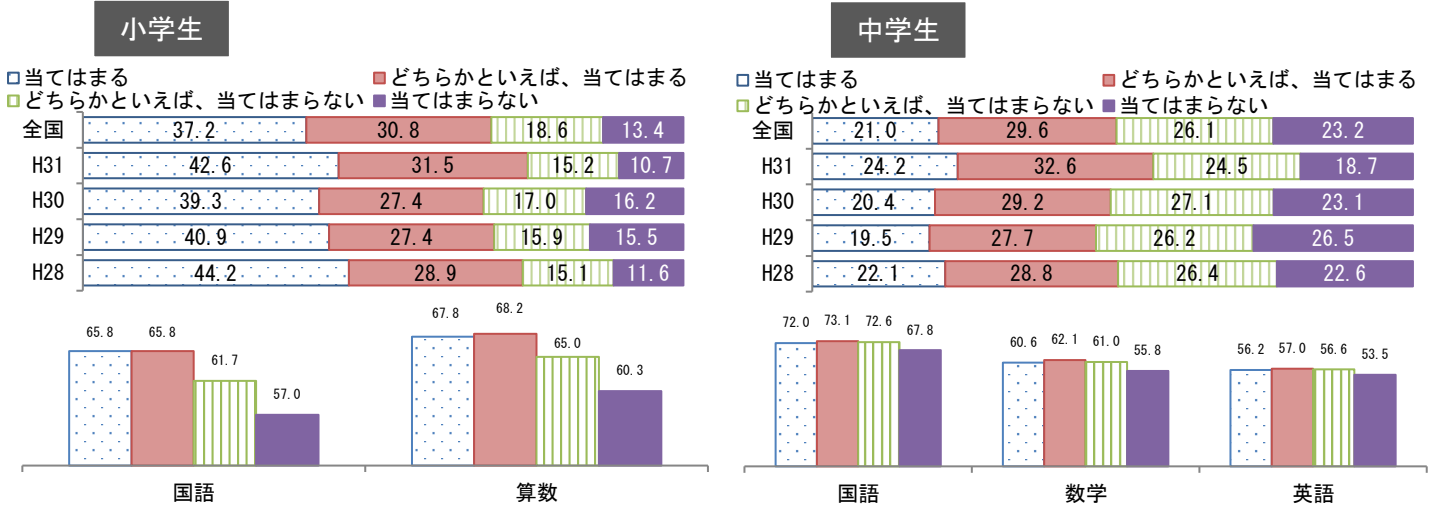
## 地域との関わりに関する状況

子どもたちがより主体的に問題意識をもって地域に関わっていけるよう、学校での学びが社会とつながっていることを意識した授業づくりをしていくことが大切です。

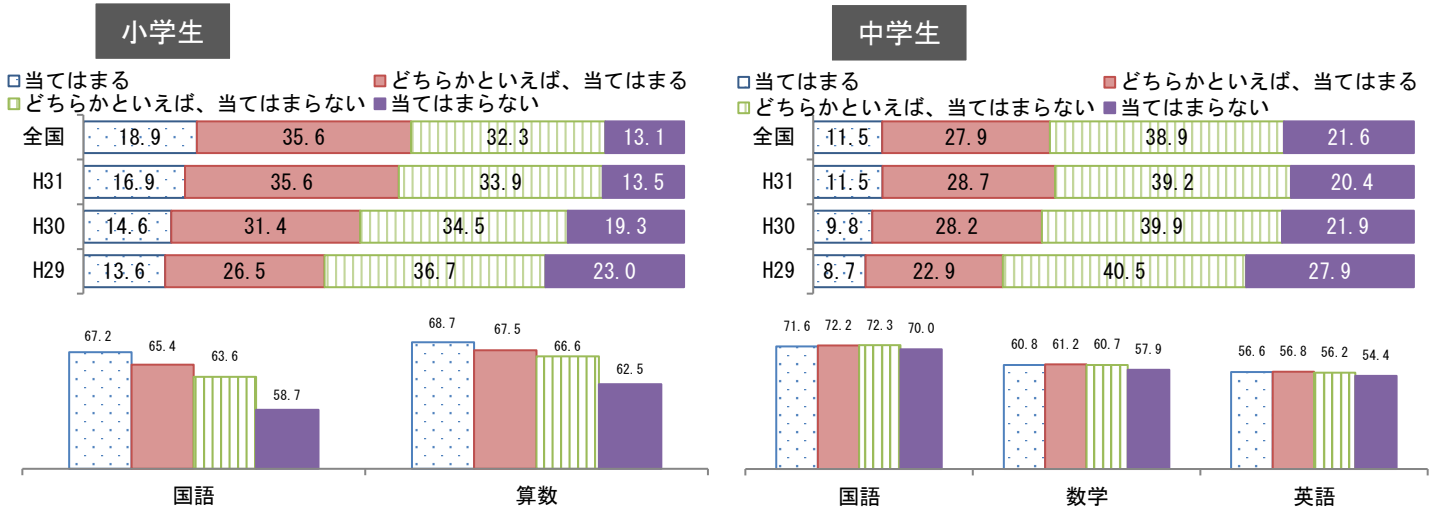
「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」との質問に対し、肯定的に回答した小中学生の割合は、昨年度より小学校で7.4ポイント、中学校で7.2ポイント増加し、小中学校ともに全国平均を6ポイント以上上回っています。しかし「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」との質問に対しては、肯定的に回答した小中学生の割合は増加傾向にあるものの、小学生は全国平均を下回る状況が続いています。

子どもたちがより主体的に問題意識をもって地域に関わっていけるよう、学校での学びが社会とつながっていることを意識した授業づくりをしていくことが大切です。

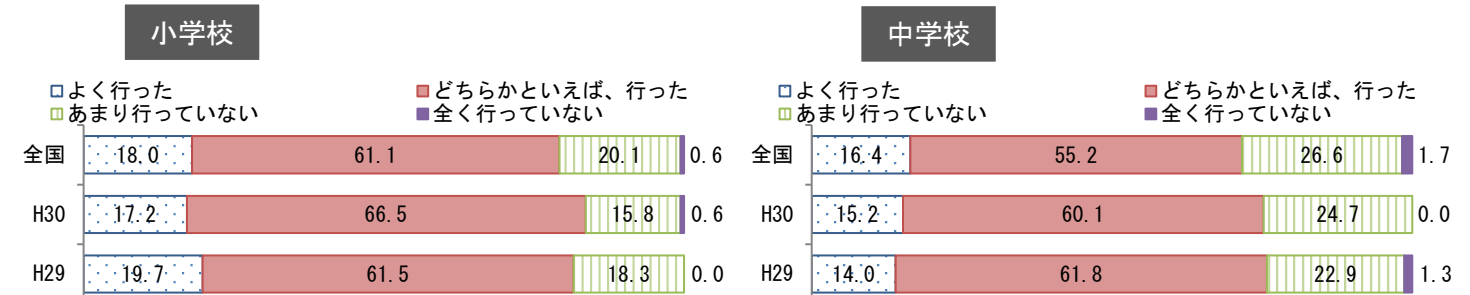
### 【児童生徒質問紙】 (23) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



### 【児童生徒質問紙】 (24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



【参考】【学校質問紙】 (H30) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか。



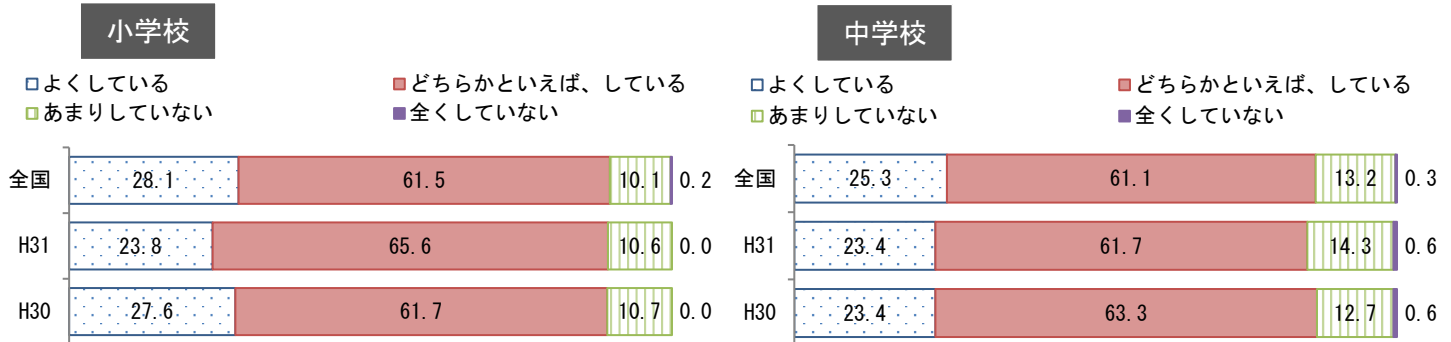
## 地域や社会と学校の連携・協働に関する状況

家庭・地域と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めていくことが大切です。

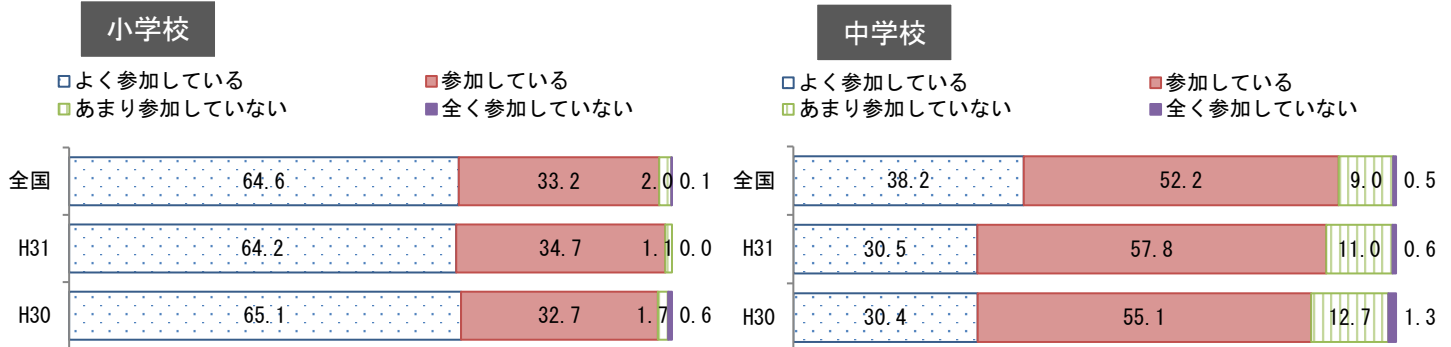
「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか」との質問に対し、肯定的に回答した小中学校の割合は、小中学校で8割を超えています。また、「保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか」「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(56・70)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、小中学校でそれぞれ8割、6割を超えており、昨年度より増加しています。

今後も、学校が家庭・地域と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めていくことが大切です。

【学校質問紙】(55・69) 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。



【学校質問紙】(56・70) 保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。



【学校質問紙】(57・71) 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(56・70)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。

